

住環境健康相談実施結果について

1 目的

本県では、シックハウス、居住環境に係るダニ、衛生害虫等による健康被害の問題点の解明、対策指導等を目的として、住民からの住環境健康相談を受け付けている。これらの相談に対して、必要に応じて室内揮発性有機化合物濃度の測定、ダニ相調査や衛生害虫の同定を実施している。

2 平成30年度住環境健康相談件数

平成30年度中に、各保健所へ計101件の住環境に関する健康相談があった。

相談内容の内訳は、「ダニに関する相談」が18件、「室内の空気環境に関する相談」が15件及び「衛生害虫及び不快害虫に関する相談」が68件であった。

なお、相談によりダニアレルゲン量等の調査を2件、衛生害虫及び不快害虫調査を12件実施した。

(参考)

年度	相談件数
平成29年度	236
平成28年度	213
平成27年度	322

また、室内の空気環境に関する調査結果を次のとおりとりまとめた。

3 平成30年度ホルムアルデヒド濃度等簡易迅速測定

シックハウスが心配される県民の不安解消を図るため、拠点的保健所(県内5か所)に配備した簡易迅速測定器により、住環境に関する健康相談のあった一般住宅を対象に室内空気中のホルムアルデヒド濃度等の測定を実施した。

(1)測定項目

ホルムアルデヒド、トルエン及びパラジクロロベンゼンのうち、相談内容に応じた項目を測定

(2)実施結果

7軒の住宅にて実施し、ホルムアルデヒドが超過した住宅が1軒、ホルムアルデヒド及びトルエンが超過した住宅が1軒あった。

	測定実施件数	指針値超過件数	室内濃度指針値
ホルムアルデヒド	10	2	0.08ppm
トルエン	10	1	260 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
パラジクロロベンゼン	3	0	0.04ppm
計	23	3	

指針値超過住宅の状況

	超過物質	種別	測定値	概要	対応状況
1	ホルムアルデヒド	一般住宅	0.2ppm	築11年の集合住宅であるが、1年前に購入した家具(子供用ベッド)のにおいが気になるとの相談。家具のある子供部屋を測定したところ、基準値を超過した。	1年以上経過していることから今後も改善しない可能性があること、原因は家具と思われるので処分も含めて処置を検討するよう伝えた。
2	ホルムアルデヒド	一般住宅	0.1ppm以上	築10か月の一戸建住宅で、2階の1室のにおいが気になるとの相談。日中は換気をしているとのことだったが、室内を測定したところ基準値を超過した。	部屋への立入は控え、引き続き換気を実施して来年にかけて様子を見ること、今後症状が現れるようなら医療機関を受診するよう伝えた。
	トルエン		300 $\mu\text{g}/\text{m}^3$		